

選別的な歴史観



「私が言っているのは歴史ではなく観測(observation)」と著者アスカー・R・クリンセン(Asker R. Krynsen)は、58歳で写真に写っているように、目を細くして、シャネルの香水を手にして、その法衣よりガイドライン、米防衛協力の指針)の改定(4月)

「私が言っているのは歴史ではなく観測(observation)」と著者アスカー・R・クリンセン(Asker R. Krynsen)は、58歳で写真に写っているように、目を細くして、シャネルの香水を手にして、その法衣よりガイドライン、米防衛協力の指針)の改定(4月)

「私が言っているのは歴史ではなく観測(observation)」と著者アスカー・R・クリンセン(Asker R. Krynsen)は、58歳で写真に写っているように、目を細くして、シャネルの香水を手にして、その法衣よりガイドライン、米防衛協力の指針)の改定(4月)

問題何も解決してない

ギリシャ金融支援再交渉

欧州連合(EU)とギリシャの金融支援交渉は再び動き始めたが、経済の回復までは長い道のりとなりそう。ギリシャ経済は2009年の単一通貨ユーロ導入に沸き、09年以降の債務危機で地の底にたたき付けられた。アテネの衣料品メーカー「ラクセス」のキー・ジョージ・ムルズホス社長(68)が、ユーロに揺られた14年間を振り返った。

「仕入れ先への現金支払いは今でもできず、取引はストップしたままだ」

ギリシャの銀行は20日、窓口営業を3週間ぶりに再開したが、預金引き出しは週々20万(約5万6000円)に制限され、海外送金は現在も認められていない。ムルズホス氏は「窓口だけ開いても、

会社社長が見たユーロ

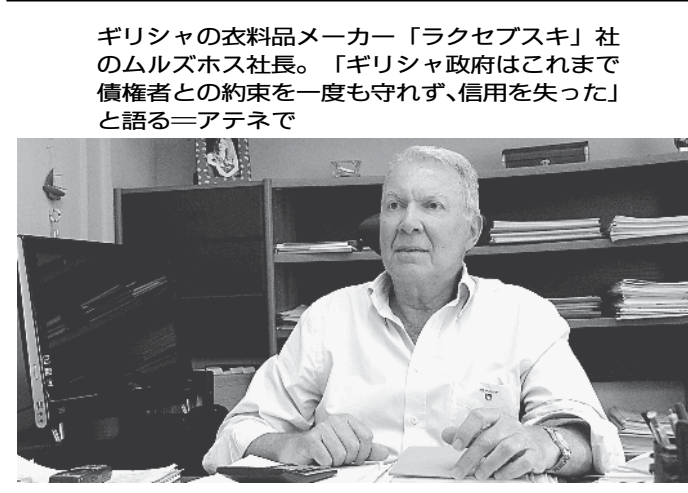
ユーロ導入後の14年間は激動だった。「世界が一夜にして変わった。安定した通貨で低金利で金を借りられるようになった。間違えた過剰な消費文化ができた」と振り返る。

「ユーロは製品を売るのに必要で、ギリシャに投資はしてくれなかった。ギリシャ人は何が起きているのか誰も分かっていなかったが、ドイツ人は知っていたはずだ」とドイツの不信感を語る。

賞金が急激に上がったギリシャの製品は、輸出競争力を失った。ラクセス社も打撃を受けたが、ブルガリアに



店頭で客を待つ服飾や靴販売店の店主たち。ギリシャでは経済回復の見通しは立っていない—アテネで23日、AP



ギリシャの衣料品メーカー「ラクセス」社のムルズホス社長。「ギリシャ政府はこれまで債権者との約束を一度も守らず、信用を失った」と語る—アテネで

「借金の歴史」は本当?

「ベルリン中西路」ギリシャの債務問題は、「借愛返さない」と批判するドイツ世論と「ドイツは冷酷」と反発するギリシャ側で感情的な対立が先鋭化した。ギリシャが19世紀から抱えてきた借金の歴史を振り返る。だが、専門家の間には違う見方もある。

ギリシャはオスマントルコからの独立戦争を戦った19世紀前半、バイエルン王国(現ドイツ南部)から借り入れた戦費を返済できなくなり、1893年には財政破綻した。独メディアは、こうした史実を取り上げて「歴史を繰り返す」

独とギリシャ 感情的対立

とギリシャ批判を展開した。だが、独デューッブルク・エッセンの大コリナ・シェンヘル研究員(経済史)は異論を唱える。ギリシャは返済を繰り返しながらも、1980年代末までかけて19世紀の借金を返済したというのだ。

ギリシャは経済規模が小さく、自国通貨の信用が低かったため、金の価格に連動する国債しか発行できなかった。しかし、むしろそのために一定の安定性を持った面

「決裂と和解」繰り返すな

米の日韓専門家提言

米国の日本専門家、ブラッド・グロッセマン(Brad Glosserman)と、米韓国際問題研究所(Pan-Pacific Forum)の理事、朝鮮半島事情に詳しいスコット・スナイダー(Scott Snyder)が、最近の日韓関係に関する著作を出版した。関係改善に向け、韓国が実効支配する島根県・竹島(韓国名・独島)の領有権を日本が放棄するよう提言。韓国には歴史問題に固執するのはやめよと迫る。日本は受け入れられるものではなく、実現可能性はないが、両氏は「今のままでは『決裂と和解』を繰り返すだけだ」と大胆な取引の必要性を訴える。

【大前仁、写真も】

日韓和解へ米専門家の提言

- 1 日本へ
 - ・竹島の領有権放棄を
 - ・元従軍慰安婦に補償を
- 2 韓国へ
 - ・対立のコスト過小評価するな
 - ・歴史問題を政治問題化するのをやめるべきだ
- 3 米国へ
 - ・より積極的に日韓の仲介を
 - ・原爆投下の被害を認めよ

米国の提言

米国の提言は、日韓関係の改善に向け、韓国が実効支配する島根県・竹島(韓国名・独島)の領有権を日本が放棄するよう提言。韓国には歴史問題に固執するのはやめよと迫る。日本は受け入れられるものではなく、実現可能性はないが、両氏は「今のままでは『決裂と和解』を繰り返すだけだ」と大胆な取引の必要性を訴える。

【大前仁、写真も】



日本外国特派員協会で行った記者会見で著作を紹介する(左から)スコット・スナイダー、ブラッド・グロッセマン両氏

株・投信・不動産

名社長の超マネー術

宮内義彦×北尾吉孝 中国バブル崩壊... 投資のプロなら、今こそ日本が買いた!

「投資のプロなら、今こそ日本が買いた!」

「投資のプロなら、今こそ日本が買いた!」

サンデー毎日

一億人の戦後70年

戦後日本を揺るがした出来事や世相、時代の雰囲気や当時の「サンデー毎日」に掲載された記事、ルポ、手記で振り返る。今、甦る一億人の戦後70年の歩み。

【写真で見る】

- 占領時代の子どもたち 1946-1952
- 戦後70年歴代内閣総理大臣 1945-2015
- 一九六〇年代の東京風景 池田写真文庫より

【サンデー毎日が伝えた戦後アラカルト】

- 石原裕次郎 連載エッセイ「裕次郎のつづり方」
- 遠藤周作「皇太子ご成婚パレード」観覧記
- 佐田啓二「小津安二郎」看護日誌
- 大江健三郎「東京オリンピック開会式」観覧記
- 寺山修司「東大なんて何だ!」戦場の最後に思う
- 高倉健 特別手記「男の人生を語らせてもらいます」

【時代の証言】

- 並木路子/古橋廣之進/白井義男/黒柳徹子/雪村いづみ
- 稲尾和久/初代若乃花(花田勝治)/吉本隆明/榎本等...

100万円からスタート あなたもできる!

「一流の株の買い方」入門プロのテクニック

「株主優待」ベスト100

「お金の貯まる人は、どっち?」

丹羽宇一郎 vs 羽生善治

大前研一の「新・経済理論」

「名社長の超マネー術」

「株主優待」ベスト100

「お金の貯まる人は、どっち?」

丹羽宇一郎 vs 羽生善治

プレゼント 8/17号 7/27(月)発売 特別定価750円(税込)

PRESIDENT

予約購読 1年(24冊)定価 16,560円⇒わずか12,000円/年

お申込みは 0120-489-612

http://www.president.co.jp/